

写真コンクール（第37回）

12月18日(月)、写真コンクール審査会がNHK文化センター講師大熊信雄氏を審査委員長に、技術委員会担当分科会のメンバーにより執り行われました。

応募作品49点、出品者数32名の中から厳正なる審査の結果、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作7点の計13点が選ばれました。

参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。

次回の写真コンクールにもたくさんの楽しい作品、力作の出品をお待ちしております。

金賞



花見だワン！

山本 広次(株九電工OB)

〈講評〉

かわいい犬が多くてユーモラスです。桜が大変良いです。

写真コンクール（第37回）

銀賞



メリークリスマス
宮田 俊彦(三球電機株)

〈講評〉

非常にダイナミックに撮れています。
飛行機のバランスも良いです。
写真技術も優れています。



鬼は外、プヒは内
山中 幸一(日本電設工業株)

〈講評〉

メガネをかけるなど、いろいろな工夫があり
おもしろさがあります。また、色彩の組
み合わせが良いです。

写真コンクール（第37回）

銅賞



ようこそ わが家へ
吉村 知憲(株きんでん)

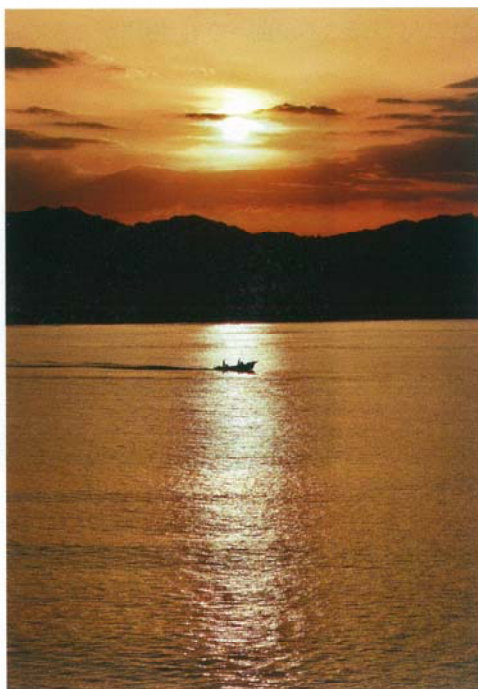
〈講評〉

生まれたばかりの写真は珍しいです。背景に看護師の方が映り込んでいるのも良いです。

小鳥の学校
上村 真人(日本リーテック(株)OB)

〈講評〉

珍しい鳥がとても良いです。構図も素晴らしいです。多数の鳥を一度によく撮れたと思います。



朝の相模湾
柴田 裕子(住友電設(株))

〈講評〉

露出が良いです。雲の映り方も良いです。船の波と朝日の光でシナリオが出てきていてとても良いです。

写真コンクール (第37回)

佳作



三室戸寺の紅葉
寺尾 玲子(株)きんでん)

〈講評〉

きれいな写真です。バランスと色彩が良いです。
人物も入って素晴らしいです。



エキサイティング
野崎 善幸(三球電機(株))

〈講評〉

水しぶきがすごく、ダイナミックに撮れていい
です。



紅白からむ彼岸花
島田 隆(株)島田電気商会)

〈講評〉

赤と白のコントラストが良いです。彼岸花の構図が
良いです。



幸福のカエル
島田 いずみ(住友電設(株))

〈講評〉

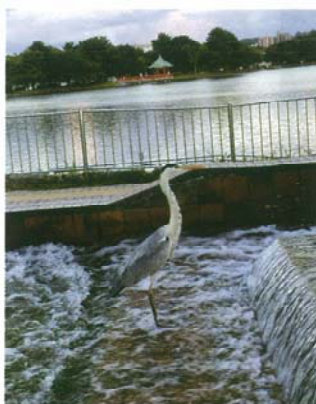
おもしろい写真です。ピント、露出も良いです。
人物が二人いるところが良いです。物語ができています。



黒田武士ニヤ!
楢原 沙季(株)平和電興)

〈講評〉

酒樽と猫のバランスがとてもいいです。
背景も素晴らしいです。



お魚待ち
楢原 豊子(株)平和電興)

〈講評〉

魚が来るのをじっと待っているアオサギの
写真で、魚を捕るためなら30分でも1時間
でも待つという物語が伝わる写真です。



かぞく団らん～暖かい竹の家族～
有高 雅紘(九州三菱電機販売(株))

〈講評〉

色と構図の面白さが出ていて、とても良い
です。



秀嶋 克仁 (35才)

会社名 株式会社秀電社

就 任 平成29年3月1日
代表取締役社長

出身地 福岡県福岡市

人生観 人生は選択の連続。

趣 味 テニス、映画鑑賞、
ドライブ、
スノーボード

『宇宙と地球と真理のようなもの』

皆さんは考えた事がありますか？

なぜ、太陽と月は同じ大きさに見えるのか。

なぜ、月はいつも同じ模様なのか。

なぜ、昼に太陽が出て、夜、月が出るのか。

なぜ、何万年も栄えた恐竜がいなくなり、数千年で人間が栄えたのか。

なぜ、そもそも地球に生命が生まれ、こんなに豊かな星になったのか。

奇跡の惑星“地球”とはよく言ったものだと思はれています。もちろん、世の中の定説は知っています。しかし、実際のところ誰も見た事は無く、学者の人が専門知識であれこれ言っている推測でしかありません。なので、僕も一つ仮説を立ててみました。

『宇宙人の実験説』

だって想像してみてください。ここまで出来過ぎた偶然あるでしょうか？本当に偶然があったとしても太陽と月が同じ大きさのように見える。までです。月がいつも同じ模様なのは、月が地球を公転する周期と月自身の自転の周期が全く同じだからですが、いや、よく考えてください。地球でさえ、太陽の周りを365日と“ちょっと”で周るんです。そのちょっとがうるう年となって、余計に回りすぎた1日分を調整している訳です。それが、月はこの大宇宙の地球と月という壮大な規模のなかで、寸分の狂いも無くまさにピッタリ公転周期と自転周期を合わせ、尚且つ地球と一緒に太陽の周りをまわっている。も

うこれは、誰かが意図してそうしたとしか思えないですね。

そう考えると、昼に太陽、夜に月がそれぞれ入れ替わって現れるのも、どちらでも暦を知る事が出来るように（太陽暦、太陰暦）誰かが意図してそうしたんじゃないかと想像できるわけです。また、月を置く事で、海に波を発生させ、地球に生命を誕生させる。さらに、地球の地軸と公転軸を垂直から少しズラした事で地球に四季を作り、これにより生命の多様性を促す……。完璧なセッティングです。

そう、全ては宇宙人の実験により計算されていると仮定すると、全てスッキリします。本当は、恐竜が進化して、今の人類みたいになっていれば宇宙人も恐竜を絶滅させなくてよかったと思いますが、思いのほか何万年もそれ以上進化しなかったのんびりを切らせたんだと思います。一回リセットして進化の過程を再度検証しようと思ったのでしょうか。そう、第二の進化実験が私たち人類という事です。

いかがでしょう。僕の仮説、『地球は宇宙人の実験場』。意外と僕は本気でそう思っていたりしますが、きっと誰も信じません。でも、世の中、物事の見方一つでいろんな想像が出来て、いろんな発想があつていいと思っています。今ここにある現実だけが真実である事に変わりが無ければ、凝り固まった定説より、夢や可能性のある仮説の方が僕は好きです。

僕は、秀電社の三代目社長に就任してからまだ1年目の新米です。人生のキャリアも仕事人としてのキャリアもまだまだ諸先輩方には到底及びません。これから、業界の中で皆様からのご指導やご教授をしっかりと受け、数多くの学びや経験を積ませて頂き、より多角的な視野で物事を判断し、社業に邁進していきたいと思っています。このような若輩者ですが、今後とも皆様どうぞよろしくお願い致します。



勝野 耕治 (57才)

会社名 三機工業株式会社
九州支店
就 任 平成29年4月1日
執行役員支店長
出身地 福岡県北九州市
人生観 「苦あれば楽あり」
趣 味 映画鑑賞・食めぐり

入社33年目でふるさと勤務

平成29年4月に三機工業(株)の九州支店長に就任しました勝野耕治です。

昭和60年に入社して以来、32年間ずっと関西勤務でしたので初めての転勤で驚いたのと赴任先が生まれ育った福岡で喜びもありました。

とは言うものの、北九州市小倉生まれで、学生時代は北九州と長崎で過ごしたので、福岡市内で生活するのは初めてで多少の不安はありました。

しかしその不安も九州の美味しい物で一気に吹き飛んでしまいました。

海鮮・肉(牛・豚・鳥・馬)料理や日本酒・焼酎の美味しい店が近くに沢山ありなかなか直帰できず、現場施工で養った現地現物確認をモットーに店の情報収集を日々行っています。お陰で体重は単身赴任半年で2kg以上増え、家内からは「私の料理より美味しいからでしょうね」と嫌味を言われるありさまです。

また、福岡は移動時間が短いことにも感動しています。通勤は会社までドアトゥドア15分で仕事上の移動は勿論、ゴルフ場も近く大阪では考えられない便利さです。

福岡で新しい発見は寺社が多いことです。京都で勤務している時には由緒ある神社・寺を拝観するの

が楽しみで、日頃殺伐とした雰囲気の仕事をしてきたのか心が洗われました。

福岡でもその楽しみがまたできそうです。「博多ライトアップウオーク博多千年煌夜」というイベントをご存知でしょうか。博多地区の神社や寺の歴史的な景観に親しみを持ち、さらなる魅力を発見するイベントで、13会場を5日間ライトアップします。残念ながら今年は、気づくのが遅く拝観できなかったもので、来年は是非行きたいと思っています。

九州県内の挨拶廻り等では元々は九州人で土地勘はあるので、地名と位置関係は結構スムーズに把握できています。でも不思議なことに人生の半分以上過ごした大阪市内の区名と位置関係は末だに全部把握できていません。

しかし関西弁に関しては半年経った今でも抜けません。話し相手からは「出身は福岡でもしゃべりは関西人ですね」とよく言われます。関西独特の表現は極力気をつけて使わないようにしていますが、イントネーションだけはどうにもなりません。

私が思うに博多弁は語尾が比較的優しいですが、関西弁は語尾が上がり気味で激しいように感じます。色と同じで一度濃くなった色を薄くするのは難しそうです。

私の職歴ですが入社後5年間は設計部の配属で、その後技術部に異動し23年間施工管理に携わってきましたので、技術畑出身で現場へは深い想いがあります。

日本の成長可能性都市ランキングでは福岡市が第1位になっていました。因みにベスト10に九州は6都市がランクインされていました。ふるさとでもあるこのような福岡の地で勤務できることは感慨深いものがあります。

これからこの地で精一杯頑張っていきますので、よろしく願いいたします。



本多 重人 (54才)

会社名 株式会社弘電社
九州支店
就 任 平成29年4月1日
執行役員支店長
出身地 茨城県
人生観 何事も楽しく前向きに！
趣 味 野球、スポーツ観戦

自己紹介

福岡電業協会 会員各社様、昨年4月1日付で九州支店長に就任いたしました株式会社弘電社本多重人です。

出身地は茨城県東海村で、当時はまさに“田舎”の名称が似合うところでした。

日本国内で原子力の火が灯った最初の場所であり、現在も日本原子力研究開発機構、日本原子力発電東海発電所・東海第二発電所など多くの原子力施設が村内に所在しています。

小学生時代は、AM6:20に集合場所へ行き、学校まで1時間30分程度かけて集団登校（登校途中、カブトムシ採りをしたり、公園でブランコや鉄棒飛び競争をしながらでしたが）し、夕方は17:00までに家に帰るという規則正しい(?)生活を送っていました。

夜空には星が燦然と輝き、その壮大さに将来は天文学者を目指そうかと思ったこともありましたが、東京へ転居した際に星が半減！（実際は街の灯りにより等級の低い星が見えなかっただけですが）した事により、その志はあえなく消え去りました。

そんな私が、1987年に当社へ入社し、三菱電機（株）代理店部門である販売本部への配属を皮切りに、業務部、内線工事営業を歴任し、横浜支店・大阪支店勤務を経て九州勤務となりました。

いろいろな職場や勤務地で多くのことを学び、また、たくさんの人と出会いました。

その経験と人々との繋がりを継続してきたことが、私の貴重な財産となっています。

各部署で担当した案件はどれも思い出深いものばかりです。また、各地域での食文化も楽しんできました。

そこで、各職場での思い出について簡単にご紹介したいと思います。

最初の配属先である販売本部では、主に重電製品・FA製品の販売を担当していましたが、電話と納期に追われる日々を過ごしていました。何度か出張で九州地区を訪問する機会にも恵まれましたが、当時は九州地区を探索することもなく真面目に(?)業務に勤しむ出張を繰り返しており、今思うと何と勿体ないことをしたのか、非常に後悔しております。

横浜支店では、観光名所は多々あり見どころ満載でしたが、食文化の「横浜中華街」がお勧めです。中華街の通りに面した建物が豪華な料理店も良いですが、路地裏にあるお店もリーズナブルで美味しいお店がたくさんありますので、旅行等でお出かけの際には是非お試しください。

大阪支店時代はたびたび甲子園球場に高校野球観戦に足を運びました。第1印象は「広くて綺麗な球場」でした。また、高校野球の試合にもかかわらず、ビールなど酒類が販売されており、嬉しかった反面、少なからず衝撃を覚えました。そのお陰か球場の雰囲気の後押しされてか、あまり興味のない高校の試合（失礼!）でも楽しく観戦する事が出来ます。その上、外野席は無料ですのでご興味のある方は一度出向かれることをお勧め致します。

そんな中、今度は九州への勤務です。弊社九州支店は、九州・沖縄地区が担当エリアとなっています。その関係で、着任後各県域のお客様へご挨拶廻りをさせていただいたのですが、どの県へ伺っても「お会いする方々善し」、「口にするものこれまた好し」で、特に食べ物は魚も肉も野菜もすべて新鮮で美味しいことにとっても驚いております。

祖母の故郷が鹿児島県であり、今回の異動を機に父の案内のもと親戚一同で祖母の生まれ故郷を訪ねてみようとの計画が持ち上がっています。これも何かの縁ですので実現に向けて着々と準備を進めている最中です。

以上とりとめのない自己紹介でしたが、今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



白濱 勝 (50才)
会社名 沖ウィンテック株式会社
 九州支店
就 任 平成29年4月1日
 支店長
出身地 長崎県五島市
人生観 清く正しく美しく
 人生、潔く
趣 味 ギター、スノーボード

29年ぶりの福岡

平成29年4月に九州支店長に就任しました白濱勝と申します。

1966年に長崎県五島市（当時は福江市）で生を受け、高校卒業まで五島で過ごし、大学の4年間を福岡で暮らしました。平成元年4月に沖電気工事株式会社（平成14年より沖ウィンテック株式会社へ社名変更）へ入社し、SE、施工、営業と様々な仕事を経験しながら現在に至りました。

入社当初は、3年間は研修期間で東京勤務と言われてながら一日も早く九州へ戻りたいという希望をもって仕事をしておりましたが、時間が経つうちに九州への思いも薄れ完全に埼玉県人となっていたのですが、29年目にして九州勤務しかも支店長という大役を拝命することとなりました。

転勤及び単身赴任は2回目で、2007年4月～2013年3月まで関西支店へ6年間勤務しておりましたので、家事はもちろんのこと家族と離れての生活も慣れたもので存分に福岡での生活を楽しまたいと思っております。

福岡の街も29年前とは随分変わりました。当時は学生だったということもありますが、飲みに行くとすれば親不孝通りが定番で、当時あったディスコの会員カードは福岡市内の学生のほとんどが持つ

てたくらいの人気でしたが、今の親不孝通りは閑散とした雰囲気でのその変わりようにびっくりしています。

入社以来ずっと通信関連の部門で、主に電話設備の提案や販売、設計・施工を行ってきましたが、その中身は劇的に変化してきました。

電話（音声）もアナログからデジタルそしてIPへと変化し、端末も固定から携帯そしてスマートフォンへと変わりました。今では、音声通話で電話をかける人よりLINEやメールでコミュニケーションする人が多いのではないのでしょうか。

クレジットカードや電子マネーの普及で、数年後にはATMでお金を引き出すことさえなくなる世の中になると思いますし、先日ニュースで現金での支払いができないレストランがオープンしたと言っていました。

急速に変化する時代の流れに乗り遅れないように、常に敏感に柔軟に勇気をもって変化できる組織を形成しながらも「何事にも安全を優先する」ということを忘れずに安定した利益を創出できるよう精進したいと思います。

取り留もなく原稿を書きましたことをお詫びするとともに、今後とも皆様のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



平田 博英 (59才)
会社名 ダイダシ株式会社
 九州支社
就 任 平成29年4月1日
 執行役員支社長
出身地 兵庫県
人生観 人生に於いて無駄な経験など一つもない。将来、必ず役に立つ時が来る。
趣 味 ゴルフ



松永 希 (53才)
会社名 電気興業株式会社
 九州支店
就 任 平成29年4月1日
 支店長
出身地 東京都
人生観 全身全霊、クイック
 レスポンス
趣 味 スキー、ゴルフ、
 スポーツ観戦

「今日までの雑感」

平成29年4月1日付で、九州支店長に就任いたしました松永希（まつながのぞむ）と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。昭和61年に電気興業株式会社に入社、住所は、神奈川県愛川町ですが、なぜか厚木工場。配属されたのが資材部資材課、ここでは、主に資材管理（平たく言えば倉庫番）を行いました。その後、本社に転勤。皆様方にも、ご存知な方もおられるとは思いますが、宮崎県えびの市に建設された、「えびの送信所」（九州道えびのインターの近くに鉄塔が8本立っている構造物、別名ぞうの檻）についての工程管理、営業を学びました。平成2年よりは、放送事業中心の営業にどっぷり浸かりまして、21年間営業としてあらゆる勉強をお客様始め関係させて頂いた方々から、ご教授頂きました。このまま東京の地を離れることもなく、定年まで営業として働いていくに違いないと確信していた私に転機は訪れました。平成23年4月九州支店営業専任次長の辞令交付にて、福岡の土地に参りました。しかも単身赴任！入社してから一度も関東から離れたこともございませんし、また生まれてから大学卒業までも同様でござ

いました。九州のゆかりがあるとすれば「えびの送信所」建設に携わった事のみでありまして、非常に心細かった事を思い出します。しかしながら、福岡に住んでみれば、長所しか見当たりません。まず、環境の良さ、食の豊かさ、人の良さ等が挙げることができます。これらは福岡市の都会、田舎の共存、が成せる地の利、海山の豊かなあらゆる自然の恵み、伝統及び古くからの祭事、信仰の素晴らしさが全てにおいて融和されたものであると感じました。このような環境の良い福岡にて働くことができるのは、全て会社のお蔭でございまして、感謝申し上げる次第です。話は突然飛びますが「人生にて趣味を持つことは大切である。」、「人より1つで良いから優れたものを持ちなさい」と父親より教えられてきました。この言葉は自分の息子（2人）にも同じように教示してまいりました。私の趣味は「スキー」と「ゴルフ」です。ここでは「スキー」に絞りますが、高校、大学、社会人と今でも、北は北海道から南は広島までのスキー場を求めて彷徨っております。近年で思い出に残っているスキー場は富山県立山山麓スキー場です。ここの特色は立山黒部アルペンルート（電鉄富山線終点）がすぐ近傍、北陸3県で最大のビッグゲレンデ、しかも宿泊施設がとにかく安い、ゲレンデも上級コースも圧雪、非圧雪込みで多種多様なので、北海道のスキー場以外では自分的に最優秀賞です。また人より優れているかは微妙ですが、「日本史」が得意です。特に鎌倉～江戸初期、中でも戦国時代の城主に自分を重ね合わせてしまうほどの「歴男」君でございます。こんな私でございしますが、人様との出会いを大切にしております。今後も御指導御鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



小原 隆 (54才)

会社名 株式会社関電工
西日本営業本部九州支社
就 任 平成29年7月1日
支社長
出身地 兵庫県尼崎市
人生観 人との「巡り逢わせ」
に感謝
趣 味 プロ野球観戦、観劇

「私と電気工事」

この度、株式会社関電工 九州支社長に就任しました、小原 隆と申します。よろしくお願いいたします。

私は関西の生まれ育ちで、関電工に入社以来30年のうち関西、東京、そして2度目の関西勤務を経て、九州に参りました。4年前から西日本本部の営業担当として、度々来ていましたが、未だ九州の土地感もわからず、早く馴染めるようになりたいと思います。

私の場合、当社に入社した理由は、父の稼業が電気工事業で幼いころより父の背中を見て育ち、物心ついた時には学校も電気科に進学し、他の職業に興味を持たず、何の躊躇もなくこの業界に入っていました。ただ、現場作業員の仕事をイメージしていた私にとって、関電工での施工管理者の立場で現場に入ることになり、このような仕事をやっていけるのかという不安から、しばらく悩んだ時期もありました。入社3年目の年に父が急逝し、会社に残ることを決めた日から、迷いを断ち切り、より大きな現場の代理人になる事を目標に、日々の監督業に集中できるようになりました。

現場での思い出は、初現場が大阪市内のオフィ

スビルだったのですが、真夜中に竣工前自主検査を終えた後、職長と2人で全館照明を点灯させて、誰もいない道路の反対側からしみじみ眺めた、煌々と明るく光るビルの景色は、今でもはっきりと思い浮かびます。

現場経験を重ねるたびに感動は薄れてきましたが、初めて特高変圧器に通電する音や、初めて非常用発電機に切り替わって、次々と防災負荷が動き出していく光景等、現場で得た達成感は常に次の現場へのやりがいになりました。新入社員の時に上司から「現場は1つのユニットやから、一現場一現場でいろんな人と出会い、仲間を増やせるようにがんばりなさい」と言われ、以降多くの客先、各職、協力会社の人達と関わってきました。初現場での竣工旅行の際、始めは口も聞いてもらえなかった大工の職長の腰を、足で踏んでマッサージした事は忘れられません。一現場ごとに築いた人間関係が今の私を支えてくれており、有難い財産だと感謝しています。

現場担当者の頃は、仕事の事しか考えず、そのため現場が終わる毎に住まいを引っ越していました。結婚してからも6回も異動し、そのたびに家族と見ず知らずの土地での生活を繰り返していました。当時は妻と「来年はどこで正月を迎えるかな」と話した事もありましたが、家族と一緒に居ることが出来たことには感謝しています。この度、初単身赴任の生活ですが休日に家に帰っても、子供からは「今までと変わらない」と言われるほど、現場業務から離れてからも、普段から家には殆どいない父親業です。

これからも自分の経験と失敗を次世代に継承する事が、電気屋としての自分の仕事だと言い聞かせて、九州で頑張りたいと思います。



田中 良 (53才)

会社名 サンワコムシス
エンジニアリング
株式会社九州支店
就 任 平成29年7月1日
支店長
出身地 島根県
人生観 継続は力
趣 味 蕎麦打ち(素人初段)・
自転車(ボタリング)

『繋ぐ、繋がる』をキーワードに

1983年4月に入社し、翌年1月から約10年間バンダラデシュを手始めに発展途上国（南米・中米・カリブ諸国・中国等15カ国）にて主としてマイクロ通信設備建設、後海外勤務を卒業し15年間NCC系移動体通信設備建設、8年間電気設備・電気通信建設に携わり現在に至っております。

1980年代発展途上国では電話通信網の整備が愁眉の課題となっており、建設コストが比較的低いPCMマイクロ通信幹線網の導入が積極的に行われていた時期でした。マイクロ通信回線は電話網が繋がる電話回線接続局（端局）→複数の無線中継局→電話回線接続局（端局）構成となり、中継局は出来るだけ標高が高く（山頂付近）見通しの良い所に建設されるのが一般的です。私の海外工事2現場目であるペルー国リマ〜ワンカイヨ衛星アプローチマイクロ通信回線更改工事では、回線ルートに世界で一番標高の高い無線中継所カサパルカ中継局（標高4,250m）があり、酸素濃度が平地の2/3程度の環境の中、毎日がキャンプ生活、トイレは空を見上げながら、食料（鶏・ウサギ・羊は生きたまま）・水は持ち込み、週一度3〜4時間かけて町へ下り、買い出し&洗濯・入浴、唯一の気分転換は満天の星

空を見上げることでしたので、今後十数年一人前になるまで続けられる仕事か不安な日を過ごしたこともありましたが、現場数をこなすにつれ竣工時の達成感・通信網を繋げる喜びを知ることができ、何のものにも代え難い経験を出来ることを感じました。実際日本では経験出来ないような種々の経験を積むことが出来ました。発展途上国地方簡易電話局（電話5〜10回線程度）開設の際は、町を挙げてのお祭り騒ぎになります。また、自国主要都市・遠く離れた他国へ出稼ぎに行っている父・母・子息に電話しようと長蛇の列（1km位）がしばしば形成され、電話で相手と繋がった時には『久しぶりに息子の・父の声を聞き、元気に頑張っていることが解った。ありがとう。』と涙を流して感謝の言葉を頂いたことも多くあり、『繋ぐ喜び&達成感』を強く感じる経験を積むことが出来ました。

海外勤務を卒業し、NCC系移動体通信設備建設に従事した時期は移動体通信基地局建設過渡期に当たり、無線基地局数を増やし通信圏セル数が増える度に、あそこでもここでも繋がるようになったと『繋がる喜び』を肌感覚で感じていました。

我が社は電気通信・電気設備工事を生業としており、秀でた技術力&マルチ技術者数を誇る主力商品と認識しておりましたが、あらためてマネジメントの立場から電気設備・電気通信建設に従事し、技術力&技術者もさることながら、人と人を繋ぐコミュニケーション力、人と現場を繋ぐ段取り&按配力の錬磨の重要性・必要性を強く感じているところであります。

最後になりますが、縁あって待望していた九州支店勤務となり『繋ぐ、繋がる』をキーワードに、福岡電業協会の皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら奮闘する所存です。これからも、どうぞよろしく御願ひ致します。



齋藤 信泰 (59才)

会社名 株式会社佐電工
福岡支店
就 任 平成29年7月1日
支店長
出身地 福岡県
人生観 和を以て貴しとなす
趣 味 スポーツ観戦、
ゴルフ

ラグビーWカップ日本大会に期すること

2019年、日本で初めて開催されるラグビーワールドカップ。前回大会、世界屈指の強豪国南アフリカ戦勝利。ノーサイドの笛が響いた瞬間、鳥肌と全身に感動を覚えました。多くの人がラグビーに目を向けていただいたことは嬉しい限りです。九州でも開催される世界のビックイベントを少しでも盛り上げようとラグビー経験者と思う次第です。

さて、現職に7月から就任し、多くの方々と名刺交換させていただきました。失礼ながら首回り、耳の形態に特徴ある方は柔道ないしラグビー経験者と勘繰るわけですが、「ラグビーしていました」と言われようものなら、もの凄く親近感を覚え、二言目には「飲みに行きましょう」などと会話が弾みます。競技人口が少ない中での同志との出会いに一期一会を感じるのでしょう。

最近はこちらラグーも増えてきましたが、私の現役当時は中学までは他の運動経験がほとんどでした。私も新興高校ゆえ、野球もサッカー部もなく、同好会で活動していた先輩ラグーマンに「いい身体しとるな。一緒にラグビーを楽しもう」と背中を叩かれ、いわば騙されて入部したようなものでした。

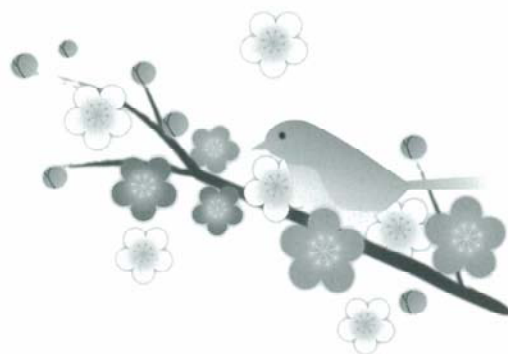
今は東福岡高校が花園大会優勝の常連となっていますが、当時雲の上の存在であった伝統校福岡高校

に勝利し、創部2年目で花園の地に立てたことは鮮烈な思い出です。

その後大学、社会人とプレーさせていただきましたが、多くの出会いの場を与えてもらったのも、楕円球に巡り合えたこと、とりわけ高校、大学の恩師のご指導のお陰です。

ラグビーが持つ良き慣習は、試合後両チーム一緒に湯船に入り、アフターファンクションといわれる親睦会に飲みながら敵味方なく交流を深めることです。同様にWカップの試合会場は、観戦エリアを区別せず、ナイスプレーには全選手に拍手し、最良のチームが負けても相手チームを祝福します。この姿を見るにつけ、「ノーサイド精神」を強く感じます。

昨今、国技大相撲における連日の話題など、耳の痛い報道が少なくありませんが、元来スポーツは純粹に感動を呼び、一体感をもたらすもので、ラグビーは英国発祥ですが日本人気質にとっても合ったスポーツと自負しています。2019年W杯開催を機に、『みんなのために』の心が日本中に湧き上がることを願ってやみません。





中村 雄彦 (54才)

会社名 旭日電気工業株式会社
福岡支店

就 任 平成29年10月1日
支店長

出身地 長崎県五島市
人生観 明るく前向きに。な
せばなる・願いはか
なう。

趣 味 野球(観戦・プレイ
ヤー・審判)、オート
バイ、音楽

自己紹介

平成29年10月1日付で福岡支店長に着任いたしました中村と申します。

出身は五島列島の福江市(現、五島市)です。7年前まで15年間に渡り姪浜エリアに住んでおりましたので2度目の福岡生活です。今回は残念ながら家族を東京に置いての単身赴任です。

私の名前は「かつひこ」と読みまして初めての方にまず読んでいただけない名前です。歴史に詳しい方はご存知かもしれませんが、戦国武将織田信長の長男が「信雄」と書いて「のぶかつ」と読むそうです。が、私の名前はここからつけられたのではなく、戦後の宰相浜口雄幸の長男「雄彦」さんを参考にしたそうです。

私が育った五島は剣道が盛んな街で、小学校時代は必ずクラスに4～5人は剣道の道場に通っていました。私も小学校に入る前の年から道場に通い、島の小～中学校、そして高校は島を離れ下宿生活をしてながら長崎西高で3年間剣道を続けました。高校卒業後、東京での大学生時代と社会人になっての数年間も同好会レベルでしたが剣道を続けておりました。30歳を過ぎ息子二人が生まれた時には福岡に住んでいましたが、残念ながら通わせたい道場を見つけられず二人の息子には剣道をさせることができず私自身も剣道から離れてしまいました。

福岡在住時、二人の息子は福岡で盛んなソフトボールを始めました。その後息子たちが6年生・3年生の時に東京へ転居しましたが東京では軟式野球を始めました。福岡のソフトボール時代は応援に徹していましたが、東京の野球時代、私はお父さんコーチをやり、息子たちが少年野球チームを卒部した後もチームに残り、息子のいないチームでのコーチと、転勤前の9月末までは資格まで取り審判をやらせていただけていました。

剣道は団体戦こそ有りはしますが基本的には個人対個人の競技です。一方で野球は投手と打者の一対一の戦いとはいえ実際には攻撃側と守備側のチーム戦です。公式審判までやってみて野球のルールの難しいことと奥深さに驚きました。小学生の野球ですら、塁にランナーがいない時/いる時の攻撃側の攻め方、それに応じた守備側のフォーメーション・動き、またランナーが塁にいる時の打撃直後と打ったボールがヒット/アウトいずれかになった場合の攻撃側/守備側の動き……。とても複雑で「こんなに頭を使うチームプレイのスポーツなのか？」と驚きの連続でした。

ここで急に話が変わりますが、実は私は10月に福岡に赴任する5か月前の5月に全く別の業種から縁あってこの旭日電気工業に転職してきました。前職はIT業界で、インターネット脅威とかサイバーセキュリティ云々を語るややこしい事をやっていました。IT業界でも基本はチームプレイではありますが、個人的な動きは少なくはありませんでした。新たに飛び込んだこの業界では個人プレイは基本的には無い・チームプレイで良い仕事をする業界だと感じました。これからは、良い仕事を行うためには社内だけでなく皆様方とのチームプレイも大切だと思っています。年齢はさて置き、業界の中では新人ですが、良い仕事を残していくためのチームプレイを行いたく皆様のご指導・ご協力・(たまには叱咤)をいただきたくよろしくお願いいたします。



宇都 義久 (59才)
会社名 株式会社九南 福岡支店
就 任 平成29年10月2日
上席執行役員 電設事業本部 支店長
出身地 宮崎県宮崎市
人生観 健康でよい生活をする。
趣 味 ゴルフ、呑み歩き

自己紹介

自己紹介をいたします。

今年人事異動により、10月に東京支店から福岡支店に勤務することになりました。

私は、昭和33年9月生まれの59才です。

九南に昭和57年に入社し、現場～設計～工事担当～営業になりました。勤務地は都城市～宮崎～日南(2年)～東京(7年)そして福岡勤務となりました。「健康的な生活を送るために」東京での生活7年間を振り返って、3つのことをお話ししたいと思います。

まず一つ目は、都会生活を始めたことで健康に役立ったことについて～

早足で毎日8km位から12kmのウォーキングを必然的にしなければならなくなったことです。宮崎は車社会、ウォーキングを続けられませんでした。都会では移動手段として電車を使います。1日平均乗車人数、1位が新宿駅で74万人です。その人ごみの中で、自分の目的地まで歩くわけですから、駅のホームで自分が疲れたので歩くのを止めようとする人にもぶつかります。人の流れに合わせて歩かなければいけません。帰宅後は足が痛くて、慣れるまでとても大変でした。来られた時は一度体験して下さい。感動的です。

2011年の大震災時に列車が止まった時も、多くの人が歩いて帰りました。東京支店の人も新宿から8時間以上歩いて帰ったそうです。「歩く」発想がすごいと思いました。東京での生活では、ウォーキングは必要不可欠なものなのです。おかげで体重が減り体調もよいです。

二つ目は、健康を維持するために励行しているこ

とについて～

それは、手洗い・うがいです。私が特に気を付けていることは、風邪をひくことです。風邪は万病のもとと言われるからです。子供の頃から「手洗い・うがいをしましょう」とよく言われてきました。たったそれだけのことですが、意識して実行しなければ習慣化することは難しいと思います。ほぼ100パーセント守ったおかげで、7年間で風邪をひいたのは3回でした。習慣化することの大切さを感じています。

最後に、人間が最初に弱るのはどこでしょう。講演会で聞いたことがあります。足でしょうか？平衡感覚だそうです。年をとりますと少しの段差で驚き、つまづいたり、転んだりすることが、多くなるそうです。平衡感覚が衰えていないか自分自身で簡単に調べる方法があります。①両手を左右に開きます。②片足を上げます。③目をつぶります。④2秒間その姿勢を維持できればよいそうです。

試す時には、周囲には物を置かないで下さい。よろけて倒れて怪我する恐れがあります。実際に講演会参加者全員でやりましたが、ショックを受けた方も多くいました。若い人は関係ないと思われるでしょうが違いますよ。

東京での生活を始めたことで、私の人生が変わりました。自分から一歩踏み出し、毎日多くの人と会い話をして、たくさんのことを吸収することが私の心の自信になりました。宮崎では、知り合えない人の話を聞く事や、世界的に有名な建物や名所を観ることができ感動しています。第二の人生はオーバーですが、それに匹敵する位、今までの生活と比べて価値観が変わりました。これからも、たくさんのことを吸収していきたいです。心と身体が健全なことが健康に繋がると 생각합니다。

余談ですが、東京にはたくさんの観光地があります。また、東京を拠点にすると日本中移動しやすいです。休日は東京に集まり家族で旅行をしていました。今回福岡に赴任が決まると妻は「今度は〇〇に行きたいね」、宮崎に近くなって良かったと言いながら、楽しそうに旅行の計画を立てています。

単身赴任8年目に入りますが、福岡でも健康的な生活を送り、たくさんのことを吸収していきます。宜しく、お願いいたします。